

# 会 議 録

## かわにし事業ディスカッション2014（第3回）

開催日時	平成26年10月26日(日) 午後1時00分から午後2時30分
開催場所	川西市役所 7階 大会議室
内容	小学校運営事業の討論・まとめ
出席者	コーディネーター 清水 万由子
	メンバー (公募市民) 大塚 千恵子 岡田 忠純 小牧 満也 杉浦 一郎 藤本 美穂
	オブザーバー 石田行政経営室長
	市職員 森下総務調整室長 上中学校教育室長 籾内教育総務課長 溝上教育総務課主事
事務局	総合政策部 行政経営室 経営改革課 (内線：2110、2112)

## 会議経過

発言者	発言内容等
コーディネーター	<p>では、早速、時間も限られていますので、小学校運営事業を始めていきます。前回の振り返りしつつ、課題の整理をして、具体的にどういうふうに事業を改善していったらいいかというところを議論していきたいと思います。</p>
市職員	<p>皆さんのお手元に、写真があると思います。この写真について、説明をお願いします。</p> <p>配付している写真は前回のディスカッションで、学校からどのようなごみが出るかということがありましたので、写真を提示させていただいています。見ていただくと、傘が各学校で大量に出ています。この分については、産業廃棄物として単品では重量は少ないですけども、大量排出となってきますと、重量も重くなり、金銭も多くなってくるかと思っています。</p> <p>それと、机、椅子が大量に出ていますが、机、椅子については、木の部分と鉄の部分を分離し、木の部分については燃やすごみに、鉄の部分については産業廃棄物として廃棄しています。</p> <p>あと、応接セットが廃棄になっており、相当使用した後、これ以上使えないため、ごみとして廃棄になっています。</p> <p>ちょっと見にくいですが、ポットなどの家電製品も廃棄しています。できる場所は学校で修理してもらっていますが、最終的に使えなくなってしまい廃棄というような状況です。大きく分けて、大体そのような形のごみが出ているところです。</p>
コーディネーター オブザーバー	<p>写真で見るのは恐らく初めてだと思いますけども、何か質問があればと思います。</p> <p>最初に資料としていただいた「粗大ごみ収集量及び委託料の推移」の中で、これは処理委託料の燃やさないごみ、大型ごみに含まれているというふうにとつたらいいですか。それとも下から2番目の処理困難一般廃棄物に含まれているのですか。</p>
市職員	<p>処理困難一般廃棄物に属します。</p>
コーディネーター	<p>勉強会のときにお配りいただいた「粗大ごみ収集量及び委託料推移」という資料が以前あったかと思いますが、その中の処理困難一般廃棄物に分類される。</p>
市職員	<p>資料の【処理委託料(小学校費のみ)】を見ましたら、処理困難一般廃棄物、その下に産業廃棄物(24年度より)になっております。それまでは処理困難一般廃棄物という形ですけども、名称が変わりまして、処理困難一般廃棄物と、それと産業廃棄物を合わせ、現在の産業廃棄物になっております。</p>
コーディネーター	<p>写真にあるのは、産業廃棄物というくりになっているということです。だから、見積りが必要であるとか、処理費がかかってくるということです。</p> <p>机、椅子、これはネジが外れなかったということですが、それは何か外れない理由があったのですか。</p>
市職員	<p>学校に聞きましたが、固定されてしまっていたということです。実際、市のほうからお願いしているのは、木製の燃えるごみは一般廃棄物で出し、残りの鉄製部分については、産業廃棄物として分類させてもらっています。そのように学校に指示しておりますが、どうしても外れないと学校側から聞いております。</p>
コーディネーター	<p>接着剤でしてあるとかいうのもあるのかもしれないです。もしこのごみの実態というところで、質問があれば。</p>
メンバー	<p>プラカードが写っていますが、これは毎年作り替えてごみになるような形になっているのでしょうか。</p>
市職員	<p>プラカードにつきましては、業者が事前に写真を撮ったもので、このようなごみが出ていますということが分かるように写しています。このプラカードについては、当然、</p>

発言者	発言内容等
コーディネーター	<p>木製ですので一般廃棄物のほうに分類されます。たまたま今回収集場所にあり、写っていたということです。</p> <p>前回の振り返りというところからいきたいと思います。この事業改善の課題は何かということで、物の管理、学校にある物の管理が非常に難しいところがある。処理料金の見通しがつかないということだったと思います。単にごみの総量を減らしたいということもあると思いますけども、学校にどれだけの備品、消耗品などがあり、それがいつどれだけ出てくるのかというのがわからないと予算も立てにくいということで、ごみを減らすことと、物の管理問題の2つの側面があったと思います。大きく分ければ2つの課題をどのように解決していくかということですけども、まず学校ですので、授業とか、教育の中で、ごみ減量に対する意識を浸透させて、物を大事に使うとか、ごみにしないということ子どもたちと一緒にやっていきたいということ。</p> <p>それから、各学校に管理とか、その処理のための様々な手続きとかいうことをしてもらわないといけないと思います。学校任せというか、学校にってもらわないといけないけれども、現場は忙しいということもあり、校長先生の考えとか、体制問題もあってなかなか市のほうで、無理やりにこういうふうにやってくださいというふうに言いづらいところがあって、各学校のごみと言いますか、物の管理、ごみ削減の体制を無理なく整えたいというところもあったと思います。</p> <p>3点目が、家庭とか、地域との連携です。前回もかなり意見が出たところかと思いますが、学校でいくらごみを減らそうと言っているけども、家に帰ってもう使い捨てばかりで生活している、あるいは地域の人たちがそういう意識が少ないというのだと教育的な意味も減っていきますし、意味がないということです。地域の中でも何かバックアップできるのではないかとということで、連携のほうも考えていきたいということだったと思います。ただ、もうちょっと違う観点もあるのではないかとすることがあれば、あとで出させていただきたいと思います。今日はもう少し解決の方向性を3つ挙げましたが、それを具体的にどういう取り組みにしていけばいいかということを考えていきたいわけです。写真を見ると、いろいろなものがあって難しいという感じがしたわけですが、学校から出るごみにもいろいろ種類があって、傘みたいに持ち込まれるものもあれば、備品のように制度変更によって出てしまうものもあるということなので、一緒に議論しにくいと思います。ちょっと表みたいなき感じにしてはどうかと思います。小学校から出るごみを4つに分ける。1つは、机、椅子、ソファ、応接用具の備品類です。それから、大型のものです。それから、消耗品という話もあったと思います。ラジカセのようなCDレコーダーであるとか、鉛筆削りであるとか、1万円以下のものということですけども、家電製品に類するもの。</p> <p>それから、3つ目がちょっと難しく、何か業者とか、地域の方なのか、誰なのかわからないけども、いつの間にか持ち込まれたものがあるという話がありました。それがどれぐらいの割合を占めるのが学校にもよりますけども、ペンキ、タイヤ、ちょっと首を傾げてしまうようなものがあるという話でした。</p> <p>それから、児童とか、教職員が持ち込んだものです。ペットボトルであるとか、傘であるとか、外から家から持ち込んだもの。大きく言うとこれぐらいというふうに思います。それぞれにやっぱりごみになるその理由というか、背景が少しずつ違うと思いますので、ちょっと特性というのか、メモを付けながら、誰がどんなことをすればごみをきちんと管理できるのか、あるいはごみにならないようにそういう意識づけができるのかということを考えてみてはどうかというふうに思います。まずは学校で、ここには児童や教職員が取り組むことに入ってくると思います。</p>

発言者	発言内容等
メンバー	<p>それから、学校に子どもを通わせている家、地域です。そして事業の担当課である教育総務課ということで、いろんな人が協力してということもあるかもしれませんが、考えるための手助けとして表にしてみました。これについては、こういう人たちがこんなことをできるのではないかというアイデアであるとか、イメージとか、方向性でもいいですし、少し皆さんで考えられたらというふうに思います。前回いろいろ出していただいたものも含めてでも結構ですので、いかがでしょうか。あるいはもうちょっとそもそもみたいな話でも結構ですし、前回の話を踏まえて、何かあればと思いますが、どうでしょうか。</p> <p>ペットボトルとか、傘に関しては、前も意見が出ていたと思いますが、自転車の荷物カバーにできるので、親子で一緒につくろうというようなワークショップみたいなのを開ければ、全体としてのごみの減量の意識づけにもなると思います。使える傘に関しては、駅とかに善意の傘というのをよく見るので何本か置いてあげるだけでもちょっとは減るのではないかと思います。</p>
コーディネーター 市職員	<p>そのようなアイデアはどうですか、善意の傘というのは。</p> <p>言っていました善意の傘というのが、写真で見ていただいたらわかりますように、学期の終わりごろになりますと、このような傘がたくさん教室に残ります。子どもたちには、家に持ち帰るようにと学校では言いますが、自分の傘かどうかわからない児童がいます。一定期間待って、持ち主を聞きますが、出てこない場合は、処分するのではなく、その傘を集めて使える傘については、例えば、児童が帰るときに突然雨が降り出したときなどに貸し出し用の傘として使用するために、ストックをしています。ただ、あま持ち主不明の傘が、ふえてしまいますと置き場所がなくなりますので、その調整を図りながら使えるものについてはできる限り有効活用していくように、様々な方法は考えております。ただ、傘のサドルカバーにつきましては、改良しなければいけないので、うまくできるのかなというのがちょっと不安なところがあります。</p>
コーディネーター 市職員	<p>使い回すというか、そういうのをやっているところもあるという感じですか。それともこれからもうちょっとそういうことをやる学校をふやす。</p> <p>やっている学校もあります。</p> <p>写真で拝見しているのも結局ごみと言っても、当初は目的があって学校に持ち込まれた、もしくは購入をしたものだと思います。教師が必要の中で持ちこんだときに、学校の費用で買っているのか、それとも教師が学校へ持ち込むというそういうことが可能なかどうか、学校の所有にしないと教育で使えないということはないと思いますけど、その辺の弾力性と言いますか、「授業で使いたい」だけ使ったらもう1回使ってそれで再度使うことのないものと、机、椅子のように何回も反復して使う、もしくは年を超えても使うものもあると思います。結局、残っているのはごみと言われて、このごみも非常に不本意です。自分たちはいるときは使われて、あといらなくなったからほるということではなくて、レンタルとか、それから教師個人の所有のものも学校で使っていいですよというような使用に汎用性があれば、もう少しごみもなくなる。ごみはどうしてもごみです。発生するときはさっき申し上げたように必要性があって学校へ持ち込まれているので、いるときだけどこから借りてくるというような道がないかなという、所有にしようという道がなくなったらごみですけども、借りたらそれは返せばいいわけです。今だとレンタル業者も非常にあるので、そういう道というのは学校ではお考えになって、現に使われているかどうかです。</p> <p>それから、こういうことのごみとして処理をするときに、コミュニティの協力を得てねじを外すとか、木と金属に外す、以前にコミュニティを活用いただくというのは申し</p>

発言者	発言内容等
コーディネーター	<p>上げたですけども、これを見ると木の部分を外し、けががない程度、安全の中で協力ができるものもあると思います。</p> <p>所有するか、それとも借りるとするのは、学校ごとの備品の管理の問題だと思いますけども、その辺は何か。</p>
市職員	<p>レンタルという考え方は市のほうではあまり採用していません。レンタルにしても予算が必要ですし、逆にちょっと高くつく場合もありますので、購入したほうがうまく使えるということで、レンタルという形はとっていません。リースというのは割とあります。長期のリース契約にして、最終的に学校のものになるということであれば、そういうことも考えられます。また、教師が持ちこんでいる備品ですが、予算が十分にあれば、いいですけども、十分でない部分の補足として、家庭で使っていた備品で、まだ使えるけれども、買い替えるから学校で使おうかみたいな感じで持ってこられているものが結構数あるのではないかと思います。そういったものを先生が変わられるときに、そのまま学校に置いておかれ、日が経ってごみになるということで、全体のごみの排出量が把握しきれないというところが、悩みの種というところですよ。</p>
メンバー	<p>結局、学校で使うときの頻度とか、期間、必ずしも学校は占有しないと使えないということであれば、学校が費用を出して購入した。多分1回か2回、もしくは1シーズン使ったらそれで終わりと言ったとき、学校の経費で出ている限りにおいて、先生はもう使わないということがわかっても自宅には持って帰れない。だから、そういうところは反対に使う頻度が非常に少ないとか、1回限りというときに、先生がたまたま持っているのであれば、それを使うというのは多分されていると思います。それをもう少し学校全体で、占有するのではなくていわゆる教師から借りる、さっきのレンタルもそうですけど、そういう柔軟性の中でごみは減ってくると思います。</p>
市職員	<p>学校予算は限られていますので、授業で必要なものについては、学校予算の中で揃えようとする必要があります。ただ、限りがありますので、そこには工夫というのが必要になってくると思います。そこで家にあるものを工夫して、それを教材として、子どもたちに授業をしていくこともしております。ただ、それを常時やっているということではありません。学年とか、一個人の裁量の中でやっているというような現状になります。また、いろいろと意見をいただきながら、一番いい方法というか、ごみ減量につながることも、物を大切に作る気持ち、もったいないという気持ちなどを子どもたちに教育の場で、有効活用ができるのかどうかということも含めて、取り組んでいかなければいけないなと思っております。</p>
メンバー	<p>結局、教師が必要性的の中で、個人で持って来られた方はあくまで学校にあってもそれはごみじゃなくて個人の所有物ですから責任のもとで個人が回収されればいいことで、学校が処分をする費用がそこにかかってくるということはないわけです。傘もそうですけども、個人が学校の授業で提供した教材の所有権がはっきりしておれば学校のものではなくて個人ですから持って帰ってもらうという形で処分ができると思うので、学校のものは個人が持って帰るといけませんから、その辺少なくとも今までは学校で予算を充てて購入して、それを使ってと、それが1回限りであっても、もう少し幅広く必要性の中で、買われるということになってしまうのではないかと思います。少し弾力的にされたら費用の支出も抑えられるし、ごみとしても残ってこないというふうに思います。</p>
コーディネーター	<p>子どもたちは自分のものがどれかわからなくなるというお話もありましたし、やっぱり使おうと思って持ち込まれる場合でも名前は書くというのか、オーナーシップというのか、この1つ1つのものが一体誰のものなのか、誰が責任を持って管理するべきものなのかというのを明記する、そういう文化というのか、習慣みたいなものももしかしたら大</p>

発言者	発言内容等
市職員	<p>事と思います。</p> <p>名前を書くこと、個人のものには責任を持つことは、大事だと思いますし、習慣をたいせつにしていかなければいけないと思っております。</p>
コーディネーター	<p>名前を書く。ほかにほかの点でもいいですし、今の点でも結構ですが、いかがでしょう。</p>
メンバー	<p>写真を見て気になったのが、この椅子はねじが外れないとおっしゃっていたのですが、何か写真で見る感じでは比較的見えそうに見える椅子に見えるのですが、そちらはどうでしょうか。写真に載っているのは、座れなくなっている椅子ですか。</p>
市職員	<p>こちらの椅子は十分使えるものではありませんが、学校で使うものは可動式になっていまして、現在、固定式の椅子は使っていません。最近ですが、家で塾を開きたい、私塾みたいなのをしたいけれども、そういった余っている机、椅子があったら分けてもらえないかという相談もあつたりします。そういった場合はお譲りしたりもできると思います。</p>
メンバー	<p>使えるものであれば、例えば、京都には小学校の跡地に美術展示とか、劇場空間としてもともの小学校の椅子とかを使った会議室みたいなところがあります。あとこの近くにもうどん屋の2階にある喫茶店コーナーは小学校の椅子みたいなのを使われて、アート集団とか、そういうところはノスタルジックな場所をちょっと雰囲気づくりに使いたいので、こういう椅子とか、机の需要は結構あります。もし規格が変わったとしても、大体ネットで私もちょうとお芝居をするときに調べますと、1脚3,000円が一番安い値段であったので、譲ってもらえるということを知れば、問い合わせはあるのではないかなというのはちょっと見て見えそうだなという椅子がたくさんあったので、そういうところに譲るといような告知とかはできないですか。</p>
市職員	<p>市のほうでも消費生活センター等がやっていますリサイクルの広報もありますので、そのようなものを利用して、まだ使えるものがあるけどもということ、今後出していくことはできるかと思えます。その辺も検討していきたいと思えます。</p>
コーディネーター	<p>前回もバザーをやるとかいうこと出ていましたけども、それをやるとしたらどういう場所で、学校が何かそのネットオークションに出すことは難しいでしょうし、地域が主導でやったほうがいいのか、どういう場でそういうマッチングをしたらいいのかということも考えたらいいと思えます。</p>
メンバー	<p>椅子をリサイクルというか、使いたい方に回していくという点でいくと、なかなか代替的にお店を開くとかいうと人がかかり、先生たちがそういったところに配置をつかなくちゃいけないとかあると思えますけども、結構、商工会でこれから事業をされたい方とかのサポートをされているようなところとか、これから起業されたい方の相談を受けたりとかしているそういった機関に、今後何かするときにお店のディスプレイなり、備品として、そういった小学校とかからいいものがあれば、椅子とかはもらえる可能性がありますよという情報提供できるように、そういった機関に情報を流すというのも1つの手ではないかなと思えます。</p>
コーディネーター	<p>そんなことはいけますが、学校として。</p>
市職員	<p>学校のほうにまず不要なものがどれだけあるかという部分で、机、椅子というのは、規格が変わったがために不用になったという理由がありますので、そういったものは数の調査をかせさせていただいて、情報提供していくことは十分できると思えます。</p>
コーディネーター	<p>どういうところにその情報を出せばいいとか、どういうタイミングでとか、そういうことはまた検討させていただいて、不用品情報をしかるべきところに提供していくということです。</p>

発言者	発言内容等
メンバー	<p>こういうものは普通の商品と違いますから、そんな出会い頭マッチングだって機会がないし、これはもうあくまで学校、市、この辺の単位では難しい問題だと思います。だから、そういう業者を見つけてそこに引き取ってもらう。それは有償なのか無償なのかどうか分からない。そういうところでやると需要がつながると思うので、川西市なり一小学校でそんなことやってみたって多分徒労に終わってしまうと思います。結局、欲しい人が欲しいときに言って、いつも学校で提供されているわけでもないでしょうし、なかなか一学校、一市町村では難しい問題だと思います。それだったらどこかで安くても廃品じゃなくて引き取ってもらって、次に利用するという道を残す。そういう業者を探すことで、市としてそこに委託してしまうほうが私はいいじゃないかと思います。</p>
コーディネーター 市職員	<p>制度的に可能ですか。</p> <p>確かにごみがいつ出るかとか、学校とマッチングというのは非常に難しいと思います。やはり学校がごみを出すということは、もうスペース的な部分とか、ストックとか、最終的な処分として出しているわけですから、申し上げられずとおり、タイミングが一致すればよいのですけれども、各学校で同じような形で全般的にやるというのは、非常に難しいと思います。</p> <p>もう1点言われました業者ですけども、そういう業者自体があるのか、それからどういう問題点があるのか、たとえば契約とか、その辺の部分のいろんな絡み具合が出てくると思います。提案といたしまして、その辺はお聞きさせていただきますけれども、必ずしも業者の問題など、いろんな問題ありますので、今ここですぐに答弁はちょっとできないかなと思いますので、ご意見としてちょうだいいたしまして、課題として持っておきたいと思います。</p>
メンバー 市職員	<p>キロ100円より安ければいいわけです。</p> <p>そうです。ただ、定期的に夏のこの時期にやりますとかというのが定着できたらいいですけども、なかなか学校というのは、単独でのいろいろ動きがありますので、そのあたりの部分が問題と思ったりします。</p>
コーディネーター 市職員	<p>全部でなくても、ある程度タイミングを揃える。年に2回とか、3回とかにして、そのときに間に合うようにしてくださいというのは難しいですか。</p> <p>学校ではごみが出てくる年度末とかに、机とか、椅子とかが多いですけども、ただ、今言ったみたいに別な時期にも出てきますから、年2回のところにタイミングよく入れられたらいいですけども、もう1つは大きな問題として、業者の部分というのは、まだ調べてないので、そういう問題点がちょっとあります。</p>
メンバー	<p>大型ごみの日にはどこからか軽トラックとか、中型のトラックで来て、自転車などのごみを積んでいる。だから、学校としてもただでも持って行ってと言えれば、そういう人に何軒かに声掛けたら、10個や20個はすぐはけると思います。そういうところにももただでさえよければ、学校として処分費用が省ける。</p>
コーディネーター 市職員	<p>業者にもいろいろあると思うので、その辺の選定もちょっとしていただいてということで、特に何かありますか。</p> <p>提案いただいている業者の関係ですけども、廃棄物処理法という形の部分で、免許を持っているから、やみくもにこの業者というわけにはいきません。回っている業者もごみを回収して、いらぬものは燃やすとか、処分という形を基本として、リサイクルできるものとか、リユースができるものについてはやっているといます。形上は今そういうふうなところで収集していく方法で回っていますが、教えていただいたのはありがたいですけども、ちょっとそれらの業者の選定というのはなかなか難しいと思います。</p>

発言者	発言内容等
メンバー	誰も回っている人に行きなさいと言いません。やはり行くからには身分であるとか、資格であるとか、確認してしかるべきところに当然出す。持って行っている人は何らかの利があってごみを回収して回っているわけですから、どこに利用があってとかいうことの調査も含めて利用できるのではないかと。誰も学校からもらってくださいなんていうことは、あり得ないと思います。
コーディネーター	きちんとやるとなればちょっと精査していただくということになるかと思います。そういった不要情報、引き取り手とのマッチングみたいなことに向けて、情報をしかるべきところを出していただく。さっきアイデアにありましたけども、何かあったらコンタクトをとっていただいてという、個別の系図でも少しずつでもやっていけたらいいのではないかとこのように思います。
メンバー	ほかはいかがでしょうか。児童たちのペットボトルの問題もありますし、質問でも結構です。前回の振り返りになりますけども、教育的な効果をあわせて出したいということですので、例えばごみ出し、分別のゲームとか、ごみの行方を調べる総合学習的なものであるとか、あるいはごみ処理にいくら一体お金がかかっているのだろうということも算数でもあり、そういう環境学習の形で、あとは経済勉強としてもやるというようなアイデアも出ていたと思います。
市職員	私の時代に、ベルマークは小学校で集めていました。あと、アルミ缶は今も集めていたりするのですか。アルミ缶を持って来て、それで一輪車を買いましたとかあったような記憶があるのですが、そういうのはされてはいないのですか。
市職員	そういう事はやっていました。現在、7中学校、16小学校すべてがやっているかと言うと、今は把握していません。確かにそういう形でやっている学校はあります。生徒会や児童会、保護者の方が主体でやられています。
メンバー	児童が持ち込んだペットボトルが結構あるということですけど、最近ではペットボトルもアルミ缶と同じように回収したら1つ当たり0.2円ぐらいみたいなところが、スーパーのecoコーナーみたいなところでふえていたりするので、回収しているのがアルミ缶だけではなくて、ペットボトルもふえているのかなと思います。リサイクルできるものとしてペットボトルとか、アルミ缶とか、そういうものは教育として多分形にもなりやすいものなので、Tシャツになっていますとか、これを何パーセントでごみ処理施設に行く。そういう点でペットボトルに関しては、比較的教育でリサイクルという点では使用しやすいものと思いました。
市職員	今、言っていたところは、大事と思っています。これも児童会や生徒会中心に考えながら、リサイクルの形とか、保護者と協力しながら、また地域の方と協力していただきながら、リサイクルについても環境教育の一環として、やっていければなと思っています。
コーディネーター	生徒会、PTAのあたりで、ペットボトルもリサイクルをしている。売却するという事です。ほかにはいかがでしょうか。
メンバー	ペットボトルにこだわるわけじゃないですけど、ペットボトルはペットボトルだけのグループとして収集をされています。ということは、それは何らかの利が出ているか、目的があって集められていると思います。もし、利が出ているために分けているのであれば、単に燃やすとかだけではなく、資源ごみとして出されたいのではないかとこのように思います。
市職員 コーディネーター	学校でもペットボトルとプラスチックに分別しています。 家庭でもやっていると思いますが、学校でも分けて資源ごみとしてやるということです。ほかに、もしよければ、教育総務課で、ここが一番困っているというのがあれば、



発言者	発言内容等
市職員	<p>言っていただければと思います。対処法が見えなくて、ぜひ意見をほしいと。</p> <p>一番頭を悩ましているのが業者などから持ち込まれたペンキであるとか、タイヤであるとか何故出てくるのかというようなごみです。理由は何度もお話しているように、「後々使うからもったいないから置いといて」、「ちょっと遊具かなんかに使うから」ということで持ち込まれたものです。例えば、電柱についている「碍子(がいし)」というものを、あとで何か運動場を整備するために欲しいからと、どなたかわからないですが、「置いといて」みたいな感じで譲り受けたものが、その方が異動されたがために、結局、何に使うのか目的を失って放置されているようなものが結構あります。そのような状況で個人的に持ち込まれると、後々ごみになったときに処理が大変であるということ意識づけ、学校全体でそういったものを持ち込まないような体制づくりというところを徹底したいのですが、なかなか浸透しません。先生が異動されるということもありますので、「川西市の学校ではそういうものは当然持ち込んだらだめ」みたいな風土をつくれたらなという思いがあります。直接、その先生方にそういうことをお願いするというのも1つかもしいないですけども、できたら子どもたちの教育を通して、まずは先生方、教職員の方々から啓発していけたらなという思いがあります。</p>
メンバー	<p>管理体制の問題が大きく浮かび上がってくるのではないかと思います。結局、責任が誰にあるのか、学校の先生が当時はおられたけどもその人が持ち込んだ。もしくはその人の要請で捨てる機会を失したという、そういうことも含めると、備品の管理というのは、どこもきっちりされているとは思いますが。そして、誰の要請でこれは置いてあるのか、業者なのか、先生なのか、いらなくなったときの責任者、その要請をした人の所在、責任がはっきりしとればその人に確認できるわけです。そうでなければ、代が変わると、誰が持ち込んだかわからないからいつ処分どうしていいかというのも誰も責任がとれないということになっているのではないかと思います。やはりそういう意味で、名札じゃないですけど、何らかの形でいつ、誰の指示で置いているのかという、履歴がわかるような形の管理が必要じゃないかと思います。企業では、備品シールを貼ったりしています。そういう管理をすると、入口できっちり補足すれば出口は当然わかりやすくなるのではないかと思います。</p>
メンバー	<p>子どもたちということであれば、物の管理、物の整理整頓というのがもしかするとこういう場合は教えていくのにいいと思いました。例えば、この1つの自分の机の中でも消しゴムが1つないとなって結局備品をまた買い足す。掃除をしてみたら見つかる。それが多分管理できなくなるとごみかもしれないものになっていると、それは多分持ち込まれたペンキなども、その後、使おうと思われた方が管理できなくなるとごみになっているので、もともとは使う予定だったものだとは思いますが。その管理体制、物の整理整頓というのが1つ言うなら家庭では家族が把握していればいいですけど、学校は先生なのか、生徒なのか、そのあたりがはっきりしていたら、これは生徒たちで管理していくものだから、生徒たちがなくしてしまったらどうするのかというところを自分たちで考えられる機会なので、物の整理整頓はごみを減らす一歩ということを教育に持ち込めたら、非常に家庭的にはありがたいと思います。</p>
コーディネーター	<p>そうですね。現状としてこういうことになっているということなので、1回そういう掃除をするというか、学校の中を探検するじゃないですけど、全校でちょっと生徒も先生も一緒になってチェックして、「これ一体何なの」というものを自分たちで掃除して発見する。整理整頓、そういうところの気づきから何か物を大事にするとか、自分の物に名前を書くとかいうことの大事さを感じてもらおうというのもいいというふうに思いました。</p>

発言者	発言内容等
メンバー	<p>打ち合わせのときに話をしていたのですが、学校の現場も忙しいということで、夏休みの登校日、暑いさなかではありますが、そういうときにみんなでちょっと学校の中を掃除、本当に大掃除してみるとか、その中で、不要というか、ごみになりそうなもの、誰のものかわからない持ち主不明のものを発見してみるとか、何かそういうのもゲーム感覚でどんなものがありましたというのを学校新聞みたいなので出したり、教材に使ったりということもあると思いますけど、どうでしょうか。</p> <p>物を大事にするというか、名前を書くというところですけども、幼稚園までは園のほうから保護者に向けて、学校の校章みたいなやつの中にも名前を書いてくださいと言われるぐらいです。本当に1センチないぐらいのものでも必ずフルネームで全部名前を物に書いて「幼稚園に持って行くものは、必ず書いてください」となっています。小学校になってくると段々親もそこまで介入をしなくなってくると思います。でも、学校側も保護者に向けて「子どもにも持って行くものにすべて名前を付けさしてください」と言っても、「親のほうももう小学生だから」とか「自分のものは自分でわかるでしょう」と多分思う保護者も多いと思うので、それであれば、学校に持ってきたときに、名前のペンを各クラスに2、3本ずつでも用意をしておいて、週に1回とか、月に2回ぐらいとか、ホームルームの時間に「きょう、みんな持ってきているもの、机の上にあるもの、名前全部書いていますか」みたいな、ないものがあれば、そこで自分で書くというのを教育の中に取り入れていくのも、本人たちは多分幼稚園までずっと親に書いてもらっていて、1年生に上がるときは多分親が書いてくれている。そこから各種自分で書くという習慣はないと思うので、子どもたちの自主性を付けるという意味でも、自分で名前を書かせるというのも1つではないかと思えます。</p>
コーディネーター メンバー	<p>これぐらいのことなら何かできそうな感じもしてきましたけども。</p> <p>ちょっと私の理解ですけども、教育総務課の役割は、賃貸マンションに例えると、大家であり、管理会社のような役割かと。学校というのは、店子というか、賃借人のような形なのかと。大家とか、管理会社が各家庭のお父さん、お母さんに対して、ごみを減らしてくれとどこまで言えるのかとそういう話というふうに理解しています。結局そのマンションから出てくるごみは、マンションの大家であり、管理会社が払わないといけないことで、その立ち退きということは学校ではないでしょうけども、先生がいなくなると同じようなことが起きて、あとに残ったのはごみというのは必ず出てきます。それはまた大家なり、管理会社がなんとかしないといけないと、そういう問題でお困りじゃないのかと。そうすると、エレベータの前に「ごみを減らしましょう」という張り紙ぐらいはできても、それ以上のことをなかなかちょっと難しいというのでずっと考えています。前回もお話させていただきましたが、結局はごみの排出権のような、各家庭についてごみの量はこれ以上もう処分できない方法しか実行的な方策というのはちょっとないのかなというので、それ以上私はちょっとアイデアが出てこなくて、きょうも皆さんのお話を伺っていて、どうしたものかとちょっと考えさしていただいたところです。</p>
コーディネーター オブザーバー	<p>前回も、処理予算の割当制というお話が出て、ここにいきなり行くというよりはいろいろやった上で、ごみの管理とか、削減の努力、それをする体制ができた上で、ここへ行きたいというようなお話もあったと思うんですけど、最終的にこういうことも辞さないというか、そういう感じです。</p> <p>ただ、今これをいきなりやってしまうと、ちょっと不法投棄じゃないですけど、溜め込むとか、問題を抱え込んでしまうところも出てくるというような懸念だったかとは思っています。</p> <p>学校のごみ問題については、もともと備品なり消耗品という形で、購入なり、持ち込</p>

発言者	発言内容等
	<p>み、持ち込みはちょっとわかりませんが、購入されたのは税金というところだと思います。当然、税金で購入したものを今度処理するのも税金ということで、この税金がそこに使われている。それがごみとして本当に捨てられていくということが問題かと思えます。いろいろ意見をいただいているけど、やはり先ほどから委員の方もおっしゃっているように、そもそもごみをつくらない。購入の段階で恐らく精査をして、いつどのくらいの期間使うものなのか、今必要なのかどうか。例えば、同じ学校で使うのであれば、その学校間での貸し借りができないのかというようなところの多分視点を持って計画的に購入するというのが必要で、その後どうしても購入したものについては、適切にやはり処理をする必要がある。それも税金で買われたものですから、単なる家庭で使われているものではないというふうなこと。当然、回収されたあとも何とか小学校という名前が使われて付いたままどこかのひょっとしたら業者間で商品のように使われ、普通のごみステーションにそれがごみとして捨てられていることも多分問題になると思います。それを処分するときにも細心の注意が必要になり、教師や児童から持ち込まれる、ものはなぜそれが持ち込まれるのか。その持ち込んだあと、それが持ち込んだ人が持ち帰らなければ、税金で処分をしないとだめだというようなところが必要なのかと。学校に携わっている以外の市民もこの問題、自分たちの税金が無駄に使われないようにどういったことに処分費として上がっているのかというようなところが、学校も含めて市役所のほうも市民にこれだけの量のごみとして出ているというのは、情報公開として示していく必要があるということを考えております。</p>
コーディネーター	<p>この辺のこういう問題がありますということの表というか、情報提供というか、この辺はどうでしょう。</p>
市職員	<p>ごみの関係は結構デリケートな部分も多いので、すべてが出せるものでもないところはあります。公表できる部分についてはどんどん公表していくべきだと思いますし、やっぱり理解も求めたいところではあります。そういった意味では、成果報告書という形で、市の事業について掲載していけると思います。別途、教育でも広報というものを出版しておりますので、うまく活用して、市民にも事業の報告ができればと思います。</p>
コーディネーター	<p>市としての役割というのは、主体がやっぱりどうしても学校になってしまって「こういうことやってね」というふうに、メニューとして提示することできると思います。そもそもそういう現状があるというのをきちんと知らせていく。そういうことも可能な範囲でということですけども、重要なことかもということです。</p>
メンバー	<p>今、計画的な購入というところも必要だという話もありましたが、それも内部管理の問題になってくるので、私たちとしては想像しづらいところもあります。例えば、企業は、備品を購入されるときにどういう意思決定なのか、されているのかなというのも興味深いところですが、どうでしょう。皆さんの経験の中から何かあれば。</p>
メンバー	<p>企業と言っても、備品と消耗品は別にして、総務で全体を管理して、予算もそうですし、物の動きもきっちりそこで管理し、盗まれない限りは把握できていたと思います。学校と言うと、先生はそれぞれ授業方針みたいなのもあって、総務で管理するという責任を持って、権限とともに管理をされているところがあるのかどうかというのは、ちょっと私はよくわかりません。会社と学校とは多分一緒ではないと思うので。</p>
コーディネーター	<p>そこはいかがでしょう。各学校でそういう部署とかはありますか。</p>
市職員	<p>各学校に管理のほうをお任せしています。当然、1万円以上の物の台帳というのは、教育総務課にも上がってきますので、そういったものはこちらでも管理はできます。</p>
コーディネーター	<p>それは、学校の中で、総務課長みたいな方がいるのでしょうか。</p>
市職員	<p>学校の中では、校長先生が一番権限を持っていますので、事務的なことは教頭とかい</p>

発言者	発言内容等
メンバー	<p>うところになってくると思います。ただ、実質やっているのは、事務員、あと校務員というところで、そこらあたりが統一されてないというような感じは受けています。</p> <p>多分、学校でも校長先生は、「それ必要なか、やめなさい」ということが言えると思いますが、事務員が先生からこういうのを買ったと言われたときに、「やめなさい」と多分言えないと思います。企業ですとピラミッドになっていますから、一元的に集約して上へ上がりますけども、総務課員が各課のほかの部下、部署からの購入を言われて「やめなさい」と普通あんまり言えないです。よその課長が言ってきて、総務課員が「やめなさい」とは言えないですけど、そこは総務課長なり、総務部長なり、責任と権限において、ピラミッドのある意味頂点ですから言える。そういう組織的なところの権限の委譲も違うのではないかと思います。</p>
市職員	<p>学校と企業とは違うところは多少なりとはあると思っています。基本的には、学年主任や分掌主任等で、それぞれの必要な備品を計画的に購入しています。消耗品についても同様に行っています。それらをまとめた中で、教頭が妥当性があるのか、計画的に購入できるかどうかということを経営職員と相談して、最終的には校長が判断するというような形を取っているところです。</p>
コーディネーター	<p>それが機能しているのかどうかという答えと思うのですが。たくさんの検討課題が学校の中にあると思いますので、これだけしっかりということもできないと思うのですが、何かその辺を総務課のほうでちょっとサポートじゃないですけど、できないかという気はしますけど、難しいでしょう。</p>
メンバー	<p>今の点でもいいですし、全体をちょっと見渡していただいてどうかということですが。前はコンテストのような形で、学校ごとの取り組みの成功例というか、熱心に教材開発であるとか、プログラムを開発しているところとか、こういう大掃除なんかも全校一斉にというよりはできるところからやってもらい、その成果をきちんとフィードバックする学校にこんな方法でやったらこれこんな成果があったという情報を共有して行って広げていくというようなことも意見が出ていたと思います。そのあたりを市のほうでちょっとできるところからやってもらい、その情報をきちんと共有していくということも重要な役割と思います。</p>
メンバー	<p>それなりに大きな物を学校で購入される場合に、会社であれば、一番下の人が必要であれば、そこから稟議書という形でこういったものをこれだけの数、いくらでどこで購入できる物がいつ必要ですというのが一番上まで上がって決済が下りてから購入になりますけども、学校もそういった形、購入前にそういったチェックというのはされているのですか。</p>
市職員	<p>教育予算という形で学校に割り当てられていますので、最終的なチェックは管理職になります。</p>
メンバー	<p>先生が近所から何か物を譲り受ける場合、そういったチェック機能はなく、各先生たちの判断で受け入れられているものだと思います。ご厚意でいただいているものなのであれですけども、最終的にごみになるということを見ると、そういった話をいただいていますというので、そこはしっかり学校に入れていいものなのか、いけないものなのかという書類なり、校長先生のチェックなり、どれだけの物かはやっぱり持ち込まれているかというところを教頭先生が把握するというのも今後必要じゃないのかと思います。</p>
市職員	<p>物品の購入について、少し補足させていただきます。消耗品は、学校のほうで決めて、請求書が教育総務課のほうに回ってきます。結果だけが回って来るという状況になります。備品につきましては、1万円以上のものについては、年に1回、共同購入というこ</p>

発言者	発言内容等
市職員 コーディネーター	<p>とで、教育総務課のほうで見積合わせをして購入しています。まずは来年度購入の分は予算要求のときに計画書を上げてきてもらい、ある程度、把握して1万円以上のものについては教育総務課のほうで管理できています。</p> <p>持ち込みされた物は、十分に活用できるのかどうか、工夫して使えるのかどうかということも考えないといけないと思います。</p>
メンバー	<p>前回も校長会、教頭会で言っているけど、なかなか下へおりていかないという話もありました。かかっている予算の総額とか、実態とかというのが校長先生とか、教頭先生がどの辺まで認識をされているのかとか、どういうふうに取り組んだらいいかという具体的な案をお持ちかどうかということもあると思うので、まあその校長会、教頭会での言い方というか、伝え方みたいなどころもぜひ具体性を持って言っていただけるといいという気がします。</p> <p>市民の皆さんがこの問題について自分だったら地域に帰って、あるいは家庭で、一市民として何かできることがあるのかなというところ、感想でも結構ですし、ぼんやりしても結構ですし、具体的なことでも何でも結構ですので、一言ずついただいて終わりにしようと思います。</p>
コーディネーター メンバー	<p>私は、結論としては、やはりごみはごみです。結局、入りを押さえて出を少なくするか、もしくは机の天板とか、椅子の天板を外して、何か工作のリサイクルで活用する。学校へ入ってくるところできっちり抑えることによって、ごみとして出ていくのがセーブされるのではないかと思います。</p>
コーディネーター メンバー	<p>もし何かご自身でお持ちの校区の学校でとかいうことがもしあれば。</p> <p>先日、地区の校長先生に学校教育の問題点とか聞きましたが、雨漏りがすると言うぐらいで、ごみの話は出ませんでした。教頭先生も児童の安全通学ですか、これの協力員制度の話をして、資料もいただきましたけども、特段ごみのことは何も言っていませんでした。</p>
コーディネーター メンバー	<p>認識の問題かもしれないということです。</p> <p>今日もいろいろな話で「これはどうですか」という提案をさせていただきましたけど、私自身としては、「何かいらなくなったけど、いらない」と言われたら「あっ、ほしい」となるタイプです。「それ使えるからもらいたい」と、多分先生たちもそういう感じで「あっ、もらえならば使えそうやし、もらっところ」と思われるのだと、私はすごくその先生たちの気持ちもよくわかります。私もいろんなところから物もってきて、「そんなもん使うのか」と言われます。私たち個人は「じゃあ、いらなくなったからそれ捨てよう」となったときに、川西市では粗大ごみは、お金がかかっていないので、問題ないかもしれないですけども、やっぱりそこに税金がかかってくるというところが、先生たちの意識もひとついるようになってくると思いました。私は話をとおして、学校の机がもし余ってもらえるのであれば、子どもが小学校に上がるときにもらいに行って、自分でDIYをして、子どもの勉強机をつくりたいと思いました。</p>
コーディネーター メンバー	<p>ありがとうございます。</p> <p>自分の小学校時代のことを思い出してみると、教室のごみ箱っていつも大抵ばんばんだったような気がするので、やっぱり1人1人のごみに対する意識というのをやっていけないといけないなというのを再認識しました。川西市のごみの推移を前に見たことがありましたが、数年前に1回下がって、もうずっとここ数年は平行線で、小学校を中心に何か自治体でごみの減量の意識をもっともってしていけるような取り組みができればいいというのを思いました。</p>
メンバー	<p>私自身はリサイクルとか、リユースという言葉がものすごく好きで、使えるものだった</p>

発言者	発言内容等
メンバー	<p>たら「あっ、何か使いたいな」と思うたちです。それは、小学校のときから何かで聞いてきた言葉であったり、アルミ缶を集めたりしたら資本になるという感覚がそのころに身に付いていたと思います。環境を考えることというのは、もしかしたらお金を考えることかもしれないということ、物に名前を書き、小さなことからコツコツやるともつたないということにつながってくるとして話を聞いていました。私も机とか、椅子とかが使えるような物があるようだったら、ぜひ自分の集団で使いたいと思うので、ちょっと聞いてみようと思います。</p> <p>最初は子どもの教育という話もあったので、学校で出るごみなんて多分子どもが出したごみだろうと聞いていろいろお話を伺い、写真を見てそうですが、ほとんど大人が出したごみで、先ほども一番困ったごみみたいなのは、罫子とか、タイヤだとかで、どここの家庭も大人しか持ち込めないような物で、子どもの教育と言いながら、まずは大人が勉強して教育されないといけないのかなということ、私もちょっとしっかりごみについて、自分の出す物についてはどういう行く末をたどっていくのかということのをずっと関心を持つようと思いました。</p>
コーディネーター	<p>はい、ありがとうございました。また、議事録を読みながらちょっとこの辺も整理をしていただいてというか、最後の報告を楽しみにしたいと思っています。</p>
オブザーバー	<p>教育については最後になります。まとめとしたりこういった出されたということで、次はこれを受けて、教育委員会が次年度も含めてこういったような取り組み、課題として取り組んでいくかというようなところを経過報告というような形でいただきます。</p>
コーディネーター	<p>市民の方に意見をいただいてまとめたのはこういうことですので、経過報告をいただいて、ディスカッションをするということです。</p> <p>これで終了にしたいと思います。ありがとうございました。</p>